



October 25, 2008

No.97

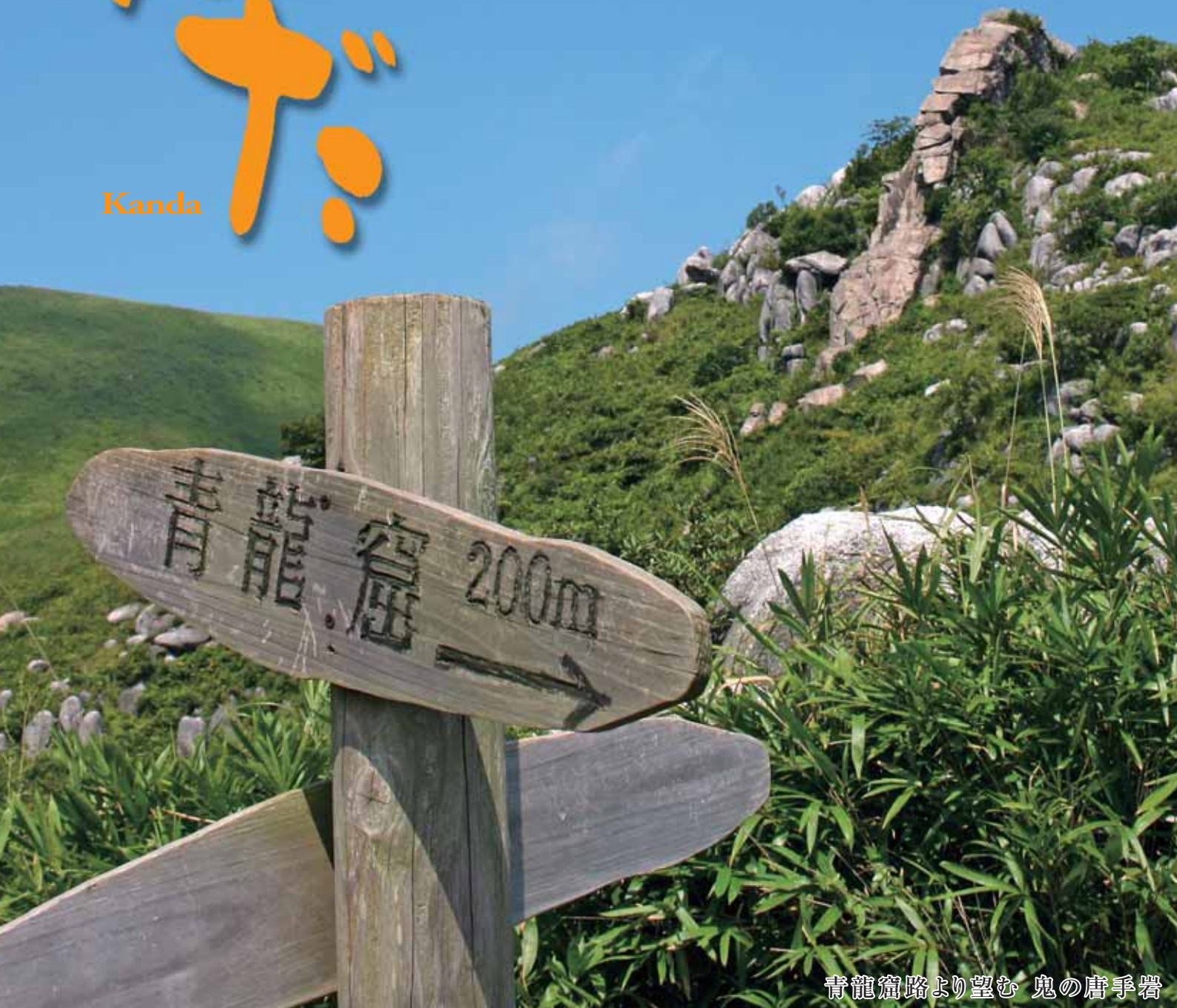
か ん だ

Kanda

議会だより

9月
定例会

決算特別委員会報告	2~3
一般会計補正予算	4
町政を問う(11名が質問)	7~18
委員会レポート	19



青龍窟路より望む 鬼の唐手岩

平成19年度決算 一般会計

歳入総額・・・160億9864万円

歳出総額・・・137億6249万円
(千円単位切捨て)

魅力あふれる産業基盤づくり

県営事業負担金 3億5670万円



観光産業の整備・育成
観光振興計画策定業務委託料

800万円

安全な生活環境づくり

防災無線整備工事

4095万円



子どもたちの健全な育成

学童保育施設建設事業補助金

2140万円





決算特別委員会報告



決算特別委員長

梶原 弘子

付託案件

平成19年度決算の認定について

- 一般会計 1件
- 特別会計 10件
- 公営企業会計 2件

一般会計

- Q 郡議長会負担金の使途は。
- A 県の研修会、郡での会議、町村会の人件費などに負担している。
- Q 内部情報システム及び機器借上料が昨年度より増加している。専門職の雇用は考えていないのか。
- A 見直す時期に来ている。職員採用までは考えていないが、現状把握、課題の分析をし、検討したい。

- Q 人権啓発推進指導員の具体的な仕事と資格要件はあるのか。
- A 役場内や町内の団体で、講師を務めている。人権啓発の要綱に基づいて携わっている。
- Q 人権推進費負担金補助金の使途は。
- A 人件費、大会参加費、活動費である。
- Q 少子化対策出産祝い記念品は。
- A 出生届提出時に、お祝いメッセージを付けてフォトフレームを渡している。
- Q 母子家庭就学祝い金を父子家庭にも適用出来ないか。
- A 今後検討する。
- Q 荻田町漁協流通等改善施設整備

事業補助金は。

- A 市場に出せない規格外の魚等を加工し、漁業者の収入の安定を図る。

- Q 商工会議所補助金が増額になったが、効果は上がったのか。

- A 町づくりなど一緒にやっていく。
- Q 磯浜町1丁目地区計画策定業務について。

- A みなし市街化調整区域のため、地区計画の策定を受け、市街化区域に編入する。
- Q 補償補填及び賠償金について。

- Q 事業推進の為に条件の悪い土地を抱え込むことになっているが。
- A 土地の活用について今後検討する。

- Q 校医委託料の内容は。
- A 内科10人、耳鼻科4人、眼科1人で児童の健康管理をしている。

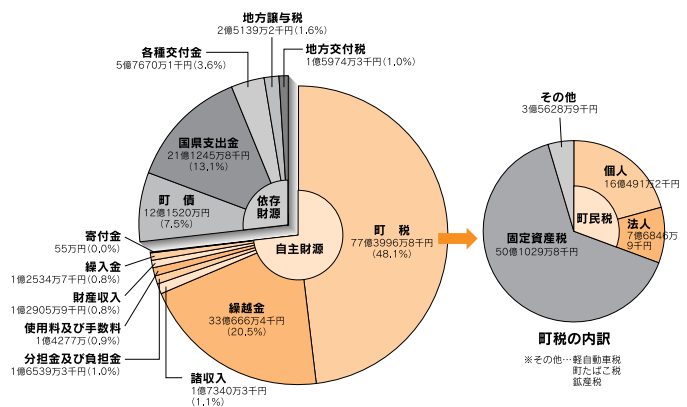
国民健康保険特別会計

- Q 高齢者(低所得)の徴収について。
- A 分割徴収に依じている。

平成19年度歳入歳出決算額

会計名	歳入	歳出	差し引き
一般会計	160億9,864万8千円	137億6,249万7千円	23億3,615万1千円
国民健康保険	35億4,479万9千円	35億4,479万9千円	0円
老人保健	35億3,428万7千円	35億6,371万9千円	△2,943万2千円
介護保険	17億5,763万2千円	16億7,874万7千円	7,888万5千円
介護保険(介護サービス事業)	1,267万5千円	706万2千円	510万3千円
土地区画整理	1億6,041万円	4,288万8千円	1億1,752万2千円
奨学資金貸付金	3,055万9千円	1,252万7千円	1,803万2千円
学校給食	2億5,435万9千円	2億5,435万9千円	0円
住宅新築資金等	2,080万8千円	2,080万8千円	0円
霊園	600万1千円	600万1千円	0円
河田臨空産業団地開発	28億2,588万円	14億3,487万1千円	13億9,100万9千円
農業集落排水	5,680万4千円	5,680万4千円	0円

一般会計歳入内訳



くらしやすい町づくり!!

一般会計補正予算 **1億4707万円追加**

道路新設改良工事

西桜ヶ丘新津線、一ツ橋浄土院線、
稲光葛川線の3路線

2500万円



西桜ヶ丘新津線

コミュニティバス運行委託料 等覚寺地区を予約方式で運行

101万円



デマンド型乗合タクシー

9月定例会（9日から29日）は
一般会計補正予算ほか22議案を可決、
19年度決算を認定

総務常任委員会報告



総務常任委員長
坂本東二郎

●平成20年度苅田町一般会計補正予算(第6号)

- コミュニティバスの運行形態は。
- A 乗車人員も増加中であり状況を見ながら検討する。
- Q 防犯灯、街路灯の設置基準を設けてもらいたい。

●苅田町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

●苅田町認可地縁団体の印鑑登録及び証明に関する条例等の一部を改正する条例の制定について



街路灯

産業建設常任委員会報告



産業建設常任委員長
常廣 直行

●平成20年度苅田町一般会計補正予算(第6号)

- 経営体育成基盤整備実施計画策定負担金は。
- A 地権者は101名。面積44ヘクタール。概算事業費は7億6千万円。
- Q 道路新設改良工事の場所は。
- A 西桜ヶ丘新津線、一ツ橋浄土院線、稲光葛川線。
- Q 町営住宅の火災報知機設置は。
- A 町営住宅の全てに取り付ける。

●平成20年度苅田町臨空産業団地開発事業特別会計補正予算(第1号)

- Q 買い取った汚濁防止ネットの寿命は。
- A はっきり分からない。
- 平成20年度苅田町下水道事業会計補正予算(第1号)
- Q 材料の選定は。

厚生文教常任委員会報告



厚生文教常任委員長
小山 信美

●平成20年度苅田町一般会計補正予算(第6号)

- 介護保険特別会計繰出金の減は。
- A 人事異動による。
- Q 保健衛生総務費の増は。
- A 特定保健指導に伴う、庶務及び保健師の増員。
- Q 給食費の滞納状況について。
- A 20万円以上の滞納者には、再度、催告書を出し、法的な手続きもしていく。
- Q 焼却灰運搬処理委託料について。
- A 乾燥汚泥を焼却し引き取ってもらう。



汚濁防止ネット(臨空産業団地)

○A JIS規格、条件に合うようなもので。

●町道路線の認定について

- Q 開発事業者が持っていた道路の維持管理は。
- A 町が行っている。今回は名義を変更した。



給食風景



第五回臨時会 (8月5日)

工事請負契約の締結について

(井場川埋立工事) ……可決

専決処分について

(平成20年度苅田町

一般会計補正予算(第5号)) ……可決

意見書案第14号

太陽光発電システムのさらなる

普及促進を求める意見書(案) ……可決

送付先

衆議院議長	河野 洋平 殿
参議院議長	江田 五月 殿
内閣総理大臣	麻生 太郎 殿
経済産業大臣	二階 俊博 殿
環境大臣	齊藤 鉄夫 殿

第六回定例会

意見書

意見書案第16号

ミニマムアクセス米の輸入停止を

求める意見書(案) ……否決

意見書案第13号
農業の振興と食料自給率の

向上に関する意見書(案) ……可決

意見書案第17号

「協同労働の協同組合法」の

速やかなる制定を

求める意見書(案) ……否決

送付先

衆議院議長	河野 洋平 殿
参議院議長	江田 五月 殿
内閣総理大臣	麻生 太郎 殿
総務大臣	鳩山 邦夫 殿
財務大臣	中川 昭一 殿
農林水産大臣	石破 茂 殿
経済産業大臣	二階 俊博 殿

送付先

衆議院議長	河野 洋平 殿
参議院議長	江田 五月 殿
内閣総理大臣	麻生 太郎 殿
総務大臣	鳩山 邦夫 殿

郵政民営化法の見直しに

関する意見書(案) ……可決

意見書案第15号

議会を傍聴しませんか

9月議会は
157人の
傍聴者が
ありました

次の定例会は12月です。
一般質問は12月12日・15日・16日(3日間)の予定。

《開催時間》

10時～17時(予定) 受付は庁舎6階まで。

問い合わせは議会事務局まで TEL 093-434-1981





梶谷 忠明 議員	8
1. 環境問題について	
2. 与原都市計画	
小山 信美 議員	9
1. 子どもの遊び環境づくり	
2. 妊産婦健診の公費負担について	
3. 子育て環境の整備	
4. 安全・安心な環境づくり	
白石 学 議員	10
1. 井場川埋立てについて	
2. 生活排水処理事業について	
梶原 弘子 議員	11
1. 環境問題の取り組みについて	
2. 暮らし、福祉優先の町づくりを願う	
3. 充実した生涯教育施設を望む	
4. 同和対策について	
富安 正直 議員	12
1. 公教育の情報公開	
2. 産学官連携への取り組みについて	
沖永 義樹 議員	13
1. 住みよい町づくりについて	
木原 洋征 議員	14
1. “教育の町づくり”の取り組みについて	
2. 子育て支援と安心安全について	
3. 健康づくりとプール建設について	
4. 国保と後期高齢者医療制度について	
5. 町民の住環境を守るために	
友田 敬而 議員	15
1. 日本一住みやすい街づくりをめざして	
伊塚 弘 議員	16
1. 議員の職責と執行部の在り方について	
尾形 均 議員	17
1. 定住化政策について	
2. 温暖化防止対策について	
3. 荊田エコプラント(株)の今後の在り方について	
4. 農業対策について	
5. 監査報告、審査意見書について	
常廣 直行 議員	18
1. 地域経済活性化へ向けてのインフラ整備	
2. 地域医療における提言	
3. 地方分権から地域内分権への取り組み	





榎谷 忠明 議員

Q

屋上緑化の条例は 考えられないのか

A

条例は考えてない



庁舎の屋上緑化



町立図書館

- Q** バイオディーゼル燃料への本町の取り組みは。
- A** 給食センターで廃食油を回収し、北九州市エコタウンにてバイオディーゼル燃料化を行っている。
- Q** 廃食油をバイオディーゼル燃料としたバスを運行してはどうか。
- A** 現在のところ考えていない。廃食油を京都市では早くからバイオディーゼル燃料の実用化に取組み一定の成果を上げていると聞いている。
- Q** 回収作業などに問題があると思うが、小さなプラントを作っては。
- A** 集積場所に容器入れ等を設置しても保管中に問題が起きる可能性がある。どういう形で回収出来るか苦慮している。
- Q** 屋上緑化及び公園の芝生化について。
- A** 壁面緑化については、町長室の横で壁面緑化を試行している。環境問題としてとらえれば、公園の芝生化が有効な手段と考えられるが、維持管理が難しく芝生化の予定は考えてない。
- Q** まだ高層マンション等が少ないが町で屋上緑化条例は考えられないか。
- A** 現状では条例化までは考えていない。
- Q** 与原都市計画の進捗状況については。
- A** 完成予定年度は平成26年度。測量業務は平成20年8月末に完了。現在、基本設計業務を発注している。



小山 信美 議員

Q 無料健診を5回以上実施している都道府県が32、14回以上の市町村は95。福島県の会津若松市は第1子、2子は5回、3子からは15回まで無料である。本町の考えは。

A 安心して子どもを産み育てていく環境をつくるため、子育てに関するサービスをまとめ、今後検討していきたい。

Q 児童館の設置

A 児童館のあり方、とらえ方について。

Q 児童館のあり方、とらえ方について。

A 人づくりの問題に関わる大事なことだ。ただ、予算、課題もあり順序として児童館まで行き着いていないが、課題を解決し早く考えたい。

Q 町民からの要望が反映できるニーズ調査の時期は。

A 年内に実施したい。

Q 町長の任期中に検討するのかが。

A 場所も形態も決まっていない。时期的には難しい。

Q 公園マップの配布は。

A 児童手当等の申請の際、窓口で渡している。

Q 富久公園に遊具の配置は。

A 予定はない。

Q 公園の整備、児童館の設置に町長のリーダーシップを発揮すべきでは。

A 児童館に着手出来なかったことは残念だ。児童館設置まで子どもの居場所を確保したい。

Q 「赤ちゃんの駅」設置を

Q 外出時にオムツ換え、授乳、子どもの休憩、気分転換が出来る公共施設や民間施設の利用は。

A 小学校入学前の子育て応援の店として本町では57店舗登録済み。

Q 分かりやすいシンボルマークの工夫は。

A 検討し、分かりやすくし

Q 地域防災と避難所整備

Q 聴覚障害者への情報発信と避難所での対応や取り組み計画は。

A 現状では出ていない。

たい。

(公共施設の設置状況)

施設名	ベビーベット	授乳	給湯	オムツ替え
役場庁舎	○	○	○	○
パンジープラザ	○	○	○	○
図書館(本館)	×	○	○	○
福祉会館	○	×	×	×



庁舎授乳室

Q オストメイト対応トイレの必要性については。

A 今後、整備すべきと考え

Q 災害時のためにストーマ^{※2}器具の備蓄場所を早急に整備すべきだ。

※1 オストメイト

ストーマをもっている人のことをオストメイトと呼びます。

※2 ストーマ

人工肛門・人工膀胱のことを総称してストーマといいます。



防災無線



白石 学 議員

Q 井場川埋立後の 土地活用は

A 観光交流拠点施設の整備を行う

- Q 井場川の土地活用について、町長の考えは。
- A 地産地消を目指した特産物の販売ができる施設の要望がある。それを含め検討している。
- Q 観光振興政策の中に、本町は素通りされる町だ。立ち寄られる町に変えていきたいとあるが、町長の思いは。
- A 昼食や、お土産を買う場所がないという意見が多い。いろんな補助メニュー等考える。
- Q 豊前の道の駅も、素通りされるから、日本一のトイレを作り、立ち寄ってもらおうということが出来た。休憩の拠点としての町長の思いは。
- A 委員会の中で意見をいただき、その中に私の思いも入りたい。
- Q リーダーシップをとっていただきたい。
- A 委員会を立ち上げ、町民の目に見える形になるように努力する。



ご迷惑をおかけします
埋立工事
を行っています

平成 21年 1月 30日まで
時間帯 9:00~17:00

井場川埋立工事

発注者 苅田町産業建設部 施設建設課
電話 093-434-1111
施工者 柿本建設株式会社
現場代理人 中本 正彦
電話 093-434-3339
(緊急)電話 090-8620-1221

- 生活排水処理事業
- Q 公共下水道の接続率を上げる努力はしているのか。
- A 説明会を開いたり、各家庭を回っている。
- Q 事業認可後10年経過して

- ているが、再評価したのか。
- A 平成16年3月に再評価をした。費用1に対して効果が1.59で事業の継続は適当である。
- Q 低所得者に対する補助は。
- A 現在は、まだ考えていない。
- Q 農業集落排水事業の普及活動はしているのか。
- A 地元説明と回覧板。
- Q 接続率は上がったのか。
- A 非常に厳しい。
- Q 白川南部地区は再検討しているのか。
- A 農業集落排水事業、合併処理浄化槽の個人設置型、市町村設置型の三つを列記し、いろいろなパターンを検討した。
- Q 農業集落排水事業と合併処理浄化槽を連携させられないか。
- A できるだけ費用のかわらない方法で検討したい。早急に解決策を出す。



梶原 弘子 議員

A **Q**

終結宣言町に学ぶ

同和事業完全終結にむけて 計画づくりを

Q 福岡県は1969年に同和対策特別措置法施行以来一兆円をこす同和対策事業を実施してきた。同和対策事業が終る2001年までは毎年100億円を超える予算措置をしている。

A 通りあげた。膨大な事業の実施によって同和地区の状況は大きく変わった。特別対策を続けていくことは差別解消に必ずしも有効ではない。人口移動が激しい中で同和地区関係者に限定した施策を続けることは実務上困難である。県は総務省の方針や実態を考慮し68事業の内、国庫補助金がついていたものは廃止した。同和終結宣言をしている岡垣町や粕屋町を研究してほしい。

Q その方向で勉強する。

Q 県の白石工業団地にメッキ工場が進出。潮干刈りや、漁場がある海辺への工場進出であり環境対策の説明は受けたのか。

A 受けていない。県と会社の売買契約で公害防止についての確認ができたと思っている。

Q 県の担当者に聞くと、世界有数の企業だから安全との回答。町は安全協定を結ばないのか。

A 土地売買契約書の中に公害防止の措置に関して建設前に町の意見を聴く。県の指示に従って十分な措置を講じる。これから協議が出てくると思う。

Q 県任せではなく、ぜひ安全協定を結んでいただきたい。

03 同和問題と人権

人権確立を目指す国内の法整備「同和対策議会議答申（昭和40年）～」(法律はこのように変わりました)

昭和44年	同和対策事業特別措置法(10年間の期限立法、昭和54年に3年間延長)
昭和57年	地域改善対策特別措置法(5年間の期限法)
昭和62年	地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律(5年間の期限法、平成4年に5年間延長)
平成8年	地域改善対策協議会意見書申(事業関係)特別対策は基本的には一般対策に移行する(教育普及関係)人権教育・人権啓発に再構築する(被害救済関係) 21世紀にふさわしい人権侵害救済制度の確立を検討する
平成9年	人権教育のための国連10年 地域改善対策特定事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の一部改正法(平成14年3月31日法期限)
平成11年	人権擁護推進審議会答申(1号答申) (人権教育・啓発の基本的事項)
平成12年	人権教育及び人権啓発の推進に関する法律 (平成15年基本指針)
平成13年	人権擁護推進審議会答申(2号答申) (人権侵害救済制度の在り方)
平成14年	人権教育・啓発に関する基本計画

注 梶原「人権問題の解決に向けて」より

これまでの、同和対策事業の実施によって、生活環境の面はかなり改善され、また教育面でも同和事業によって進学率は大幅に向上しています。しかし中途退学率は全国平均に比べ多く、大学進学率は全国平均の半分に満たない現状があります。
また、差別事業は、調査事業による差別解消が実現するなど、結婚・就職差別は依然深刻な実態があります。新たにインターネットを利用した差別行為が横行するなど問題が起っています。

住宅開発と農業用排水

Q 農業用排水路に住宅事情の変化で生活用水も流れ込んでいる。補修は何課か。

A 三者での話し合いはやっていない。開発の場所によって違うがその水路がなくなるまで、基本的に水利組合の管理。

Q 農業用排水路は農政課、生活雑排水は基本的には施設建設課。

Q 市街化区域内の農業用排水路は、アパートなどの建設で状況が変化している。施設建設課、農政課、水利組合との話し合いは持たれているのか。



富安 正直 議員

Q 全国学力テストの結果を公表せよ

A 検討する

よ 学校評価制度を活用せよ

Q 法律で実施を義務付けられた学校評価結果の公表をどのようにしていくのか。

A 県立学校の場合、各学校の自己評価がインターネットで閲覧できるようになっている。小・中学校では地域が非常に限られており、たとえばPTA総会や学校だよりなどで公表していくように検討している。

全国学力テストの結果を活かせ

Q 平成19年度より始まり、今回で2回目の実施となった全国学力テスト。本町の子どもたちの成績は、前回は中くらいより少し下であったと聞いている。今回はどうだったのか。

A 基礎については、やや改善しているが、応用については全国的な傾向と同様、町としても大きな課題である。

Q 他市町村と比べて多くの予算を投入し、専科教員の導入や二学期制、クラスの少人数化など恵まれた環境にある中で、今回の結果をどう考えるか。

A もっと結果を出すべきであると反省している。

Q テスト結果の数字を公表し、本町の子どもたちは全国レベルでどの水準の教育を受けているのか町民の皆さんに示す必要があると考える。

A どのような形でどこまで公表するか検討させてもらいたい。

産・学・官の協力にもビジョンが必要

Q 町に立地する大学や企業との連携によるまちづくりや教育、福祉への参画推進をどのようにはかっているか。

A 現在、企業、学校関係者、商工会議所などで組織する、荻田町産学官民まちづくり委員会(仮称)の設立を検討中である。その中で、

本町の現状を把握し、その上で何を変えるべきか、あらゆる観点から話をしてみたい。



Q 企業や学校が町に何を望んでいるかをまず把握すべきだ。企業が沢山この町に立地してくれているからこそ、これに対してサービス

を充実すべきで、それが定住化促進や財源確保につながるのではないか。

A 財政支援などの目に見える形の支援は難しい。何らかの感謝の意は表していきたい。



沖永 義樹 議員



与原区画整理事業予定地

Q 人口増加対策は A 平成22年人口4万人が目標

人口増加について

Q 本町は不交付団体が34年も続き、他の自治体から大変よい町とうらやまれている。しかし、人口は3万5千人前後と伸び悩んでいる。この現状を町長はどう受け止めているのか。又、人口増加対策も含めた考えは。

A 平成22年人口を4万人と推計し、将来目標人口を5万人と定めている。今後、

与原土地区画整理事業の推進、子育て支援、教育施策の充実、住環境整備など快適な暮らしの利便性を向上させる住みよさが実感でき

る町づくりに取り組み、定住人口の増加に努める。

Q 下水道事業が北九州市に比べ約20年以上遅れている。1番の遅れの原因は、政争が長く続いたためである。道路は町を変える大きな要因である。都市計画道路事業を進め、民間の活力を利用し、宅地造成する方法もある。日豊線より西側、雨窪から尾倉にかけて新しい道路をつくる計画は。

A 日豊線から西側については、生活の道路を含めて非常に遅れているのが現実。今後はその辺も加味して足元に密着した道路整備、利用しやすい道づくりに向けて検討する。



早急に冷暖房の設置を

り、支えていけるよう検討する必要がある。

地方交付税不交付団体について

Q 不交付団体が34年も続き、先人達の努力に感謝すべきだ。本町と他の自治体を比較した時、町民に対し恵まれている点は。

A 福祉・教育など幅広い分野で本町独自の事業ができている。

Q ゴミの無料回収を町民が喜んでおり、ゴミの分別減量化をしながら継続を維持すべきでは。

A 大変難しい問題で減量化の事も含めて、考慮する。

Q 子供達が快適に勉強できるように各小・中学校の冷暖房設置を。

A 内部的に協議を行い、来年度に向けてできるところからやっていきたい。

Q 私の質問を多少でも町が進めることで、本町が不交付団体としてよい町と言われることにつながる。

A 学生の気持ちは「苅田町」ということに今は親しみを覚えないようである。今後西日本工業大学と連携を取

Q 人口を増やし本町を「苅田市」に昇格させるべきだ。大字がつく地名では、若い人が集まらない。西日本工業大学が北九州市にキャンパスを建設中であり、大学の主体が北九州市になるのでは。



木原 洋征 議員

Q 重度障害者の 医療費をゼロに

A 他市町村の動向を見て検討

Q 重度障害者医療費の自己負担は、昨年の障害者自立支援法に次ぐ負担増。本町に住む障害児は幾つもの医療機関にかからざるを得ず、負担増になる。無料化を町独自で進めていただきたい。

A 重度障害者医療について、一定の期間が経過すれば数値等も判明するので、検討をしていく。

教育の町づくりについて

Q 片島小学校の複式解消の手立では。

A 県教育委員会に改めて強く要望したい。しかし、可能性は非常に厳しい状況。

Q 2003年の文部科学省の発達障害児の実態調査では「知的発達に遅れはないものの学習面や行動面に著しい困難を示すと、担任教師が回答した児童生徒の割合」が約6.3%と報告されている。本町での調査結果は何%だったのか。



地域ぐるみの運動会(片島小学校)

A 6年前の資料であり探す事ができなかった。

Q 普通教室の温暖化対策はどうするのか。大阪の枚方市では、合計75箇所の普通教室に一齐に空調設備を設置し、グラウンドの芝生化や緑のカーテンなども整備を進めている。本町でもできるのではないか。

A 空調設備に頼らない教室の環境改善を図っていく方針。

子育て支援と安心安全について

Q 児童館の設置計画は平成21年の方針だが。

A 児童館の着工はすぐには

無理だが、今後も検討したい。

Q 痴漢や不審者情報が多く、学童保育の延長が安心安全の最優先課題では。

A 学童保育の延長については考えていない。

国保と医療制度について

Q 資格証発行世帯の子どものいる世帯調査結果は。

A 国で調査中、国の発表を待って報告をしたい。

Q 保険証をとりあげて、子どもを無保険状態にするのか。

A 厚生労働省が全国調査中、国の動向を見守りたい。

Q 生活困窮者への国保税の

さらなる減免と後期高齢者医療制度を廃止すべきだ。健康づくりは通年利用ができる温水プール建設で。

A 通年利用ができるプールを目指す。

Q 高齢者の利用率が高い歩行者プール併設は可能か。

A 25メートルのメインプールと歩行プール2コース、幼児プールは作りたい。

町民の住環境を守るために

Q 苅田臨海工業線の騒音等について再調査と対策を。

A 関係機関を交えて協議する。



苅田臨海工業線



友田 敬而 議員

- Q 北京オリンピックで活躍された、潮田玲子選手に町民栄誉賞を創設し第1号としては。
- A 制度がないので感謝状を授与したい。
- Q 行政サービスを通じて定住化対策として本町タウンマップ情報を冊子にまとめて配布するべきでは。



感謝状を受けとる潮田選手

Q

潮田選手に町民栄誉賞を

A 感謝状を贈りたい

- Q 民間とタイアップして昨年配布した。今後も再版できるように検討したい。
- Q 定住化に対応した自治会運営をサポートする体制作りを。
- A 最大のサポートを行っているが対応は難しい。
- Q ゴミの無料化をどう考えるか。
- A 有料化を含めて検討中。
- Q 有料化によるゴミ減量化ではなく、町民のモラルの向上による分別と減量化を図るべきだ。
- A 参考にする。
- Q 商業再生を通じて町民の視点に立った、商業政策を検討したことはあるか。
- A 検討したことはない。
- Q 商店街活性化のための政策をすべて実施しているのに衰退が激しい。行政としてどう考えるか。
- A 行政として何ができるか非常に難しい問題。
- Q 生涯学習を通じて等覚寺・北谷地区里山計画は「空の家、旧山口分校跡地」も計画と関連しているか。
- A 総合的な計画である。但し中核施設は現在検討中。
- Q 計画の対象は町内それとも町外者か。
- A 双方が対象である。
- Q 町内在住者対象の生涯学習施設にとどまらずに、観光という視点を踏まえたスケールの大きな計画を望む。
- Q 執行部の描いているプール計画とは。
- A 従来の競泳中心のプールから町民すべてを対象とした住民に不可欠な健康施設を目指している。
- Q 先進自治体では健康寿命が延び、医療費の負担が減っている。予防医療の観点からも温水プールが必要では。
- A 町民全員の健康作りに役立つ温水プールをぜひ作りたい。



伊塚 弘 議員

Q 町長は議員の提案や意見を 真摯に受けとめ、対応しているのか

A 可能な限り努めている

Q 議員は、本会議や委員会

で住民や地域の立場にたつて提案し、意見を述べているが、その成果が感じられない。町長は公の場での議員の提案や意見をどのように整理し対応しているのか。

A 本会議や委員会の終了後に問題点も含め、対応策を検討し可能なものは実施するように努めている。

Q 地方自治制度では、町長

に執行権、議会に議決権を定めている。お互いその役割を分担し、その権利を侵さず、牽制しあい自治を発展させることになっていることについての見解は。

A お互いに牽制しあい補い合いながら町政を発展させ、町民の幸せに向けていきたいと考える。

公有財産の処分は適切

Q 平成19年度の公有財産の

処分実績表によると、公売（一般入札）での処分が2件だけで、随意契約による処分が

多すぎるのでは。

A 随意契約による処分は、公共事業の推進を優先させ、里道や水路、機能を有しない財産を隣接の地権者に時価で処分する場合などである。

Q 基本的には公売に付する

べきと考えるが。

A 公売が原則である。

区からの要望・陳情を

すみやかに解決すべき

Q 区からの要望で未着工の

件数は。

A 施設建設課で13件、農政課で10件である。

Q 陳情も増えており、住み

良い町づくりをめざし早急に取り組まないのか。

A 町内全般をみて、不公平

にならないよう手順を決めて実施している。

Q 生活環境整備事業といっ

た事業名を作り、予算と人材をあてて推進したらどうか。

A より良い組織体制を検討

してみる。

男女協同参画の推進状

況は

Q 特にドメスティックバイ

オレンスへの取り組み状況はどうなっているか。

A 平成18年1月より女性相談員を配置しており、相談件数は、実数で61人、のべ件数734回となっている。特に最近では、ドメスティック

クバイオレンスに関することが多くなっているように感じる。

Q 女性や子供のひどい状況を念頭に、被害者の保護や住民啓発に力をいれると共に、加害者を更生させる取り組みも検討すべきだが。

A 被害の連鎖を断ち切る重

要性を認識し、県や弁護士会などとの協議の場で議題

にあげ、取り組みを強化したい。

※ドメスティックバイオレンス

同居関係にある配偶者や内縁関係や両親・子・兄弟・親戚などの家庭から受ける家庭内暴力のこと





尾形 均 議員



圃場整備事業予定地(鋤崎地区)

人口増へ向けての 定住化政策は 定住人口増へ努める

Q 「苅田市」を目指すには5万人必要。取り組みは。

A 住宅地整備、住環境整備、子育て支援等行う。

Q 小波瀬駅周辺整備は有効手段の一つでは。

A 基本構想案が完成。西側の都市基盤の形成を図り、駅周辺の活性化を目指す案を参考に検討したい。

Q 地球温暖化防止への取り組みは。

A 各種CO₂削減の取り組みと、今後ともソフト・ハード面から検討していく。

Q マスタープラン作成時のアンケート調査では、公園・緑地の整備が第一位。せめて学校の運動場、公園の芝生化はできないか。

A 維持費がかかる。

エコプラントはこのままでいいのか

Q ごみ収集、ごみ処理、RDF関係委託料、エコプラントへの貸付金、じん芥処理費等約8億円。今後増えると思われるが。

A 借入金返済が平成25年迄。それまでは今の枠組みを維持していく。

Q 株式会社なので法人税、消費税等支払っているが。

A 他の株主との関係上、赤

字は出せない。来年度より会社の在り方を検討する。



農業政策を問う

Q 鋤崎地区で圃場整備計画、多額の費用を投入して農業振興できるか。

A 地元役員より要請あり。県営圃場整備事業で取り組みたい。

Q 担い手がいないなか、整備終了後、どのように農業振興を計るのか。

A 新たな組織、機関も必要。農業公社も一つの考え。財政健全化について

Q 法人町民税の多寡により歳入が大きく変わる。平成19年度決算の主な財源指標のうち、経常収支比率、一般財源比率は悪化しつつある。今後の財政運営についてどう考えるのか

A 歳入増ばかりを考えるのではなく、慎重な財政運営をしていきたい。

Q 予算の執行状況、収入未済額14億円超、不能欠損額約1.9億円(いずれも一般、特別会計)。この対応について。

A 滞納対策会議で対応している。法的措置も打つ。

Q 不能欠損額が増えると、町民の納税意欲が損なわれる。徴収には全力を挙げるように。



常廣 直行 議員

Q

緊急課題はさらなる道路インフラ整備では

A

健全な市街地形成、
交通アクセスの円滑化を図る



地域活性化へ向けてのインフラ整備

Q 主要幹線道路建設促進は。

A 東九州道及び、201号バイパスは平成25年をめざし、猪熊行橋線も平行して供用開始を県に要望している。与原地区は区画整理事業に合わせ与原白石線、尾倉与原線を一体的に整備し、交通アクセスの円滑化を図る。

Q 今後、交通量の増加が見

A 込まれる与原・二崎・南港地区の道路整備は。

A 浮殿文久線、白石干拓線は今年で終わる。その他は補助金をもらいながら早期に施行するよう進めている。

Q 都市計画マスタープランに「長期未着手道路を見直す」とあるが。

A まだ検討していない。

Q 曾根行橋線、緑ヶ丘付近の工事と京都トンネル工事の費用対効果は。

A 緑ヶ丘付近は用地買収を最小限に出来る工法だと聞く。京都トンネルは山口ダム側工事終了後、調査する。

経済効果が期待できるプール建設事業への提言

Q 公式競技等も誘致できる施設にすることで大勢の人々が集まる町となり、地域経済活性化にもつながるので

A 京築で初めての屋内温水プールであり、近隣住民にも利用していただき、町の活性化に活かして行きたい。

Q 若手職員やメーカーなどとのプロジェクトチームを作った新たな発想を。

A いろんな意見をもらいながら建設を目指したい。

会議場やレセプション会場施設の誘致

Q 活性化には、人を集める会議場やレセプション会場があるホテル、商業施設が

A 進出できるインフラの整備が必要では。

A 地域経済活性化のためには有意義な方策。ニーズを見極めながら検討する。

高齢者インフルエンザ予防接種無料化

Q 予防接種費用とインフルエンザによる医療費を比較すると無料化が得ではないか。

A 荏田町インフルエンザ予防接種実施要綱に基づき、積極的な接種干渉になるので無料化は考えてない。

地方分権から地域分権への取り組み

Q 住民組織のバランスが重要。区単位の見直しは。

A 区は自主的な組織であり、自治会を行政が再編させることは出来ない。

Q 財政的裏づけの仕組みは。
A 区長を対象にアンケート調査の結果、「現状のままで良い」という意見が多い。



議会改革特別委員会研修レポート

8月1日、北海道栗山町、夕張市にて議会改革特別委員会の視察研修を行いました。栗山町は全国初の議会基本条例制定自治体です。

当日は議員15名が参加し、熱心に研修を受けました。

栗山町議長より、議会への信頼性の大切さ、議員の使命等について熱く説明があり、情報開示、住民参加の徹底、より開かれた町政の実現が切迫した課題であることを実感し、改めて行政に携わる者の責任を痛感しました。



栗山町にて

夜間議会レポート

9月定例会の一般質問は、16日・17日の日程で開催され、初めての試みである夜間議会は17日の午後5時30分より午後9時まで行なわれた。当日は町民の感心も非常に高く傍聴席が満席となりました。議会に対する期待は大きく、責任と緊張感を持ってより一層充実した議会活動に努めます。



季節の風景



一度行ってみては…？（飛龍の滝）



天日干しされた赤米



黄金色に実った白川米の刈取り

まちの見どころ

表紙の
写真

青龍窟路より望む 鬼の唐手岩(広谷湿原)

北九州国定公園内、青龍窟の西側、広谷と呼ばれる標高450mの盆地にある小さな湿地でモウセンゴケ・サギソウ・トキソウ・ツリフネソウ・ノハナシヨウブなどの湿原特有の植物が自生している。福岡県唯一の湿地であるが、カラスト台地での湿地は世界的にも珍しく、植物

の中には、環境庁(現環境省)が指定する貴重な絶滅危惧種が多く含まれている。また、広谷の東側には鬼の唐手岩と呼ばれる奇岩がある。この岩は石灰岩地帯に花崗岩が貫入したもので、地表面では高さ約5mのオーバーハングした崖壁を作り、地下ではダム役割を果たしている。広谷湿原を形成する重要な役割を果たしている。



目指せ! オリンピック

【苅田中学校 野球部】

苅田中学校野球部です。近隣はもとより県内各地に遠征し、現在52戦38勝11敗3分(公式戦18戦13勝5敗)。夏季大会は、京都郡大会準優勝、京築地区優勝、福岡県大会ベスト8の成績でした。結果を出すには量や日数をこなすこと、小さいことの積み重ねで自信をもたせることが大切です。質を求めることも大切ですが、それだけでは体も心も育たないと改めて思いました。本校野球部は、長期休暇中や休日からは終日練習しています。日常も早朝からグラウンドに元気な声が響いています。何より挨拶がすばらしく、毎朝さわやかな気持ちでスタートできます。また、校門へ続く坂道のゴミ拾いもしています。自分のためだけでなく、人のため仲間のために流す汗や涙の大切さを、厳しい練習や試合を



通して身につけている証です。試合で自分の力を最大限に発揮するには試合のない時、つまり日常の過ごし方こそが勝敗を分けるのです。顧問の福井、永田両先生のきめ細かな指導で、野球部員である以前にすばらしい中学生であることが求められています。すべてのことに感謝する心、謙虚で素直な心が育っている野球部にこれからも応援をよろしくお願いたします。



あとがき

国会では、首相が2年続いで政権を投げ出す異常事態になりました。

アメリカに端を発した金融不安はどうなるのか、輸入米の、農薬やカビ毒に汚染された事故米が学校や病院の給食や加工品、焼酎用に販売されました。食や景気に対する不安、政治不信が頂点に達しています。

このような情勢の中、本町では、9月定例会で試験的に夜間議会を開催し、83名の傍聴者で席が一杯になりました。

いま、議会では議会基本条例の制定にむけて、学習や議会のことをどのように住民の皆様へ伝える事ができるのか、試行錯誤していきます。皆様の声をぜひお聞かせ下さい。

木原 洋征

議会広報特別委員会

委員長
副委員長

- | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 井上 修 | 小山 信美 | 常廣 直行 | 木原 洋征 | 榎谷 忠明 | 友田 敬而 | 山口 純治 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|